参考

地域ぐるみによる「多様な滞在・活動の組合せ」の提案

地域ぐるみによる 「多様な滞在・活動の組み合わせ」 を提案できるようにすることで、次の効果が期待できます。

○期待1:「学校のねらい」にかなう提案を行いやすくなること

○期待2:「より多くのサービス」を提案しやすくなること (滞在時間・日数と経済波及効果の増加)

地域ぐるみによる 「民泊 (分泊・交流) +ホテル (集団宿泊) +体験等」 の組み合わせ (イメージ)

1泊滞在のイメージ

見学 交流 体験 **宿泊** 交流 (民泊) 体験

2泊滞在のイメージ

 見学
 宿泊
 見学

 交流
 (民泊)
 (民泊)
 (民泊)

 規買

 体験

事例

そらの郷山里物語(ほんもの田舎暮らし体験) PBL×STEAM プログラム

ESD人材育成を図る『PBL (課題解決型学習)×STEAMプログラム』は、本物の暮らし、コミュニティの中で、地域住民と共にプロジェクトを展開させるもの。STEAM教育の手法で、個々の能力を引き出し、様々な実践体験から、あらたな課題・複数の答えを模索します。

■ PBL× STEAM プログラム

	1 ⊟目	2 日目
AM	集落フィールドワーク、講演学習	家業体験
PM	家業体験	離村式
泊	民泊	

1. 事前学習

- ■出前授業 (60-120 分)
 - ・にし阿波の暮らしについて
- ・そらの郷の取組について
- ・にし阿波の課題について ・PBL テーマ設定
- 地元高校生との TV 会議



PBLテーマ例

- ①急速な少子高齢化、人口減少による担い手不足
 - 傾斜地伝統農法の技術継承
 - ・山間部の植物多様性の保全
 - ・集落のローカルコミュニティ保全

②将来の不確実性からくる、住民のネガティブ思考

- ・自身の子どもが、田舎を離れ、都内で成功することを願う
- ・止められない人口減少と産業衰退
- ・豊かな暮らし、地域の魅力創出が進まない

③秘境と言われる所以、交通の不便

- ・山々と渓谷で分断された集落形成のため、大型バスの侵入が困難
- ④動植物多様な地域であるため、虫が多い
 - ・イノシシ、シカ、猿などに農地が年中被害を受けている

Produce by 一般社団法人そらの郷

所在 徳島県三好市池田町シマ 995 番地 1

連絡 旅行業登録番号

徳島県知事登録旅行業第 2-148 号

2. 民泊・家業体験

- 家庭ルール説明
- ・夕食づくり体験 ※共同調理
- ・夕食 ・団らん
- ・民泊体験とのディスカッション
- ・阿波おどり演習など
- ・入浴 ・就寝



3. 集落フィールドワーク

地域団体とともに、集落の産業 構造の理解、食や文化を守る取 組などテーマに沿ってフィールド ワークを実施



4. 事後学習

振り返り、まとめ

発表会 (そらの郷出席)





(株)大田原ツーリズム(栃木県大田原市)」の場合

- 1. 大田原市のグリーン・ツーリズムの受け入れを担う「着地型旅行会社」として開業しました。
- 2. 同社は開業当初から「教育旅行民泊」の手配を行ってきました (教育旅行、国際交流)。
 - 開業年に手配可能な「受入家庭(農家民宿)」は7軒でした(当初は「軒数不足」)。
 - ② 大田原市と連携して依頼できる「受入家庭」を開拓してきました。

参考:農家民宿の開業支援

○大田原市: 「旅館業法の営業許可取得」に係る費用の補助

○同社:「旅館業法の営業許可申請」の代行

③ 開業4年目には依頼できる「受入家庭」は120軒(委任状取得数・申請中含めて)を超えました。







開業前年	開業年	開業 4 年目
同社の事業計画の作成 (目標:8年後の黒字化)	○ 教育旅行民泊の予約開始 ○ 高付加価値な体験の開発・ 提供 (カスタマイズ等)	○ 「同社の黒字化」の達成 ○各受入農家への支払い 5~100万円/戸
年間旅行取扱人数	189人	6,459人
インバウンド受入人数	0人	1,498人
同社の専任職員	3人	6人 (UIターン3人)

- 3. 同社は「粗利が3割残せるように事業」を展開してきました (持続可能な経営と雇用の確保)。
 - 「高付加価値な体験プログラム」を開発・提供を重ねてきました。
 - ○学校や企業ごとにカスタマイズした「体験プログラム」の開発・提供等

粗利(「提供した付加価値の大きさ) = 売上高 - 売上原価(直接的にかかった費用)

注:含まれないもの:経費(人件費、家賃等)、金融活動の損失、特別損失(災害や盗難等)、税金

- 2 教育旅行民泊だけでなく「多角的な観光の受け入れ」を展開してきました。
 - 「インバウンドの受け入れ」の促進
 - 「ホテル飯塚邸」の開業・運営(登録有形文化財を活用した宿泊施設)







参考

「私立学校の教育旅行」に見られる特色

- 1. 教育旅行は「保護者が学校を選択する検討材料の一つ」となっています
 - 少子化によって、「教育旅行の活動内容」を工夫したいと考える学校もあります。
 - 他校とは異なる「オンリー 1 の教育旅行」をめざしたい考える学校もあります。
 - ○「修学旅行以外の宿泊行事(移動教室・林間学校など)」で工夫を図る場合もあります。
- 充実した活動を実施するためなら「コース別・人数制限・活動先の分散」を 図る学校もあります。

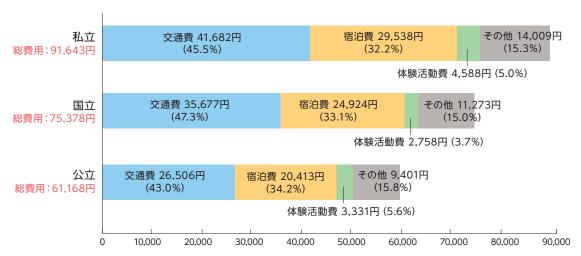
注:「学校のねらい」にかなうことが期待できる場合に限ります。

- 3. 修学旅行の場合、私立学校の予算は「公立学校よりも多い傾向」があります
 - 公立校の場合、修学旅行に「上限額」を設けている場合もある

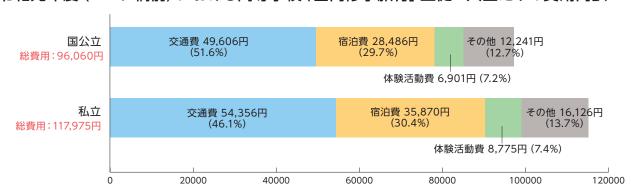
例:東京都の都立高校:令和6年度国内修学旅行の場合の上限額は96,000円(税抜) <出典>公益財団法人日本修学旅行協会ホームページ・修学旅行実施基準概要一覧より

- 令和6年度で顕著になった「旅行費用の高騰」と「オーバーツーリズムの影響」
 - 宿泊施設・バス・飛行機等の人件費・燃料費等が高騰しています。
 - 予算の都合上、「既存の訪問先(特に海外)」に伺えなくなることも起きています。
 - ●「方面・移動手段・滞在先」が限定される分、体験等の活動を充実させたいと考える学校もあります。

令和元年度(コロナ禍前)における中学校「国内修学旅行」生徒一人当たりの費用内訳



令和元年度(コロナ禍前)における高等学校「国内修学旅行」生徒一人当たりの費用内訳



参考: 教育旅行年報 「データブック2020」 (公財) 日本修学旅行協会

課題

「受入地域の自治体」に期待される役割が分からない

対策

受入地域団体への支援

- ●「受入地域の関係機関」として参画すること(例:救急連絡・災害対策等)
- ② 「受入家庭等の受入先」の開拓 (例:説明会の主催・共催、広報誌への掲載、訪問開拓時の同行等)
- ③ 「受入家庭」の営業許可申請・民泊登録(例:手続きの代行、申請・改装等に係る費用の補助等)
- 4 「役所・役場内での事務所」の配置
- ⑤ 「受入地域団体の事業費等」の予算化
- ⑥ 「本取組以外の業務」の発注(公的施設の指定管理、「ふるさと納税」の事務代行等)
- ③ 「職員の出向、地域おこし協力隊等」の派遣(本取組の業務や人件費等の負担の軽減)
- 9 受入地域団体が「法人化」を図る際の出資
- ⑩「自治体観光部署・観光団体」との関係づくり(「多角的な観光」の展開)等

対策

「教育旅行の誘致 | を促す支援

- 「送り側の費用(一部)」の予算化(体験料、地域内移動に係る費用等)
- ② 国・都道府県等による交付金・助成金・制度等を活用した費用の補助

例:子ども農山漁村交流プロジェクトの地方財政措置

ふるさと納税

森林環境譲与税

特別区全国連携プロジェクト事業助成金 (東京都特別区等)

- ③ 担当教員の公的な派遣依頼文書の発行(学校長宛て)
- ④ 姉妹都市等での認知度・関心の向上を図る取組(公的行事等への出展・派遣)

対策

「官民協同」による展開

- 教育旅行の誘致活動 (例: 営業活動・媒体作成の補助、学校・旅行会社営業時の職員派遣等)
- ② 受入家庭等の確保(例:説明会の開催、自治体職員の派遣等)
- ❸ その他(例:国等の事業公募の協力、受入地域団体の法人化の支援、事前学習等での職員派遣等)

農泊地域の教育旅行の受入拡大に向けた有識者会議

	氏名	所属・役職
有識者	加藤 十握	私立武蔵高等学校中学校 副校長
	花垣 紀之	一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構 業務第 1 部グリーン・ツーリズムチーム長
	高野 満博	公益財団法人日本修学旅行協会 常務理事 事務局長
	野浪 健一	一般社団法人日本旅行業協会 国内旅行推進部長
	福田 一樹	一般社団法人みなかみ町体験旅行 専務理事

本冊子は、令和6年度農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策 農泊推進型)のうち広域ネットワーク推進事業「農泊地域の販路拡大に向けた旅行事業者等とのネットワーク構築促進事業」を活用して作成しています。

参考リンク集・

農林水産省 「農泊」の推進について

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/nouhakusuishin/nouhaku_top.html

内閣官房子供の農山漁村体験情報支援サイト

https://furusato.jp/

公益財団法人日本修学旅行協会

https://jstb.or.jp/

農泊に関するポータルサイト (一般旅行者向け)

国内向け農泊 PR サイト 農泊ポータルサイト

https://nohaku.net/

海外向け農泊 PR サイト Countryside Stay Japan

https://countrysidestays-japan.com/

| お問合せ先 | 農泊旅行博・商談会運営事務局 (㈱ JTB 内)

E-mail: nouhaku-travelfair@jtb.com